

介護相談員だより

2020年11月 第27号
連絡先:介護相談員事務局
四日市市 高齢福祉課
電話 354-8170
FAX 354-8280

教えて！新型コロナウイルス感染症対策

今年各地を騒がせている新型コロナウイルス。新規感染者数を低い水準でおさえられてはいますが、まだまだ気を抜けない状況です。今回は、施設での新型コロナウイルスに対する取り組みをご紹介します。

しきりを使って飛沫に対応 第二陽光苑 デイサービスセンター



利用者が使うテーブルにしきりを設置して飛沫を防止します！



楽しい食事やおしゃべりの時也要注意

感染症予防で気を付けたいことのひとつが、感染の可能性が高いと言われている飛沫(しぶき)による感染です。食事やおしゃべりの際の飛沫を吸い込んでしまわないようマスク着用や対面での会話を避けるように気をつけましょう。

事業所の方に伺いました

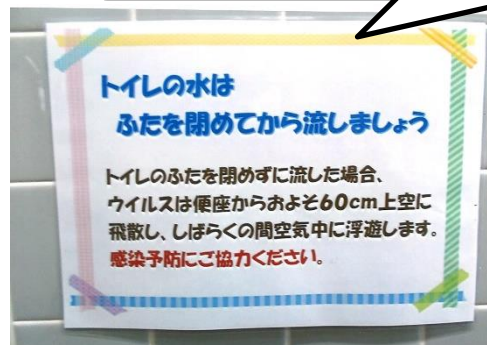
利用者にもマスク着用など気をつけてもらっていますが、それ以上に職員のマスク着用、手洗い、仕切りを利用する等、予防を徹底するようにしています。

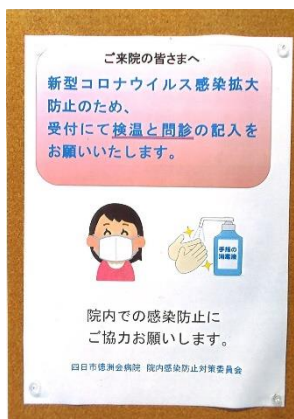
こんな時もウイルスに注意！ 徳洲会病院 通所リハビリテーション

トイレを使ったときも気をつけて

おしゃべりや食事のとき以外に、トイレを使ったときもウイルスには注意が必要です。フタを閉めてウイルスが飛び散らないように注意しましょう。

貼り紙をして注意喚起をしています。





ウイルスを持ち込まない

今年になってよく見かけるようになりましたが、こちらの施設でも、来所時に手指の消毒、検温と問診を行っています。マスクの着用も含めて、ウイルスを持ち込まない、うつさないようにすることが大事ですね。



事業所の方に伺いました

ウイルスを持ち込まないように、職員の健康管理に気をつけています。また、送迎車を1台増やし、車内に飛沫防止のシートを設置して対応しています。

感染防止のために基本を徹底 富田浜在宅介護サービスセンター



来所時には確認にご協力を

利用者には、送迎で自宅に伺った際に、体温測定を行い、熱のある利用者は利用を中止してもらっています。また、施設についてからも再度、検温を行う等、確認を徹底しています。

また、利用者以外の施設への訪問者には、マスクの着用、手の消毒、受付での検温と氏名・連絡先の記入をお願いしており、感染防止、感染者の早期発見を意識しています。



職員間でも感染を広げないために

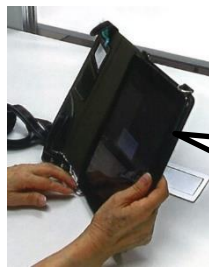
利用者、施設への訪問者はもちろんですが、職員間でも注意しています。職員間での申し送りを行う場合等に、少人数で実施するようにし、感染症が広がらないよう気を付けています。

事業所の方に伺いました

他にも、送迎が終わった車、施設入り口付近を定期的に消毒、換気しています。

また、利用者も感染症対策が意識づいてきているようで、マスクがずれていると互いに注意し合っている姿が見られます。

いろいろな道具を活用して対応 特別養護老人ホーム 浜風



写真のような端末を使って、画面上で入所者と話ができます。

画面越しに元気か確認

感染症予防のため、入所施設では面会ができないことも多い状況ですが、こちらの施設ではタブレット端末を用いて、オンラインでの面会に対応しています。



事業所の方に伺いました

「会えない」ことが入所者、ご家族にとって負担となっていたようで、オンラインでの面会を始めて、顔が見えることで喜ばれています。

視覚的にも体温チェック

施設の入りに設置されたカメラは体温チェックをすることができます。体温を調べるためにかかる時間が短く、施設への出入りの際に役立てられています。

令和元年度 第2回サービス向上連絡会 ～介護事業所でのレクリエーションについて～

開催日時：令和元年 12月9日（月）13時30分～15時30分

講師：三重県レクリエーション協会 佐脇 重喜 氏

派遣先事業所職員と介護相談員の計41名が参加し、介護事業所向けのレクリエーションについて、実演を交えながらお話いただきました。



2拍子3拍子

童謡等に合わせて、右手で2拍子、左手3拍子と繰り返す。



ゲー・パー

腕を交互に前に突き出す。最初は何度か、突き出した手がパーの形になるように行い、次に突き出した手がゲーの形になるように突き出した手の形を変えて行う。



あとだしジャンケン

リーダーがジャンケンポンの掛け声で手を出したら、すぐにポンと言って、それに負ける手を出す。



これ以外にもいくつかのレクリエーションをご紹介いただきました。興味のある方は「日本レクリエーション協会 レクポ」で検索、もしくは下の二次元コードを読み取ってみてください。

出典：日本レクリエーション協会 レクリエーションポータルサイト レクポ

実際にやってみることで、利用者に対してどう接すると良いかを考えるきっかけとなりました。レクリエーションを楽しむという大切さ、ただ行うだけでなく効果や、交流の大切さも学びました。



介護相談員のこぼれ話



感染症予防のため、事業所への訪問を中止していた間、介護相談員に自宅でのように過ごしていたか聞いてみました。

- 写経を始めてみました。手と目をよく使うので、疲れました。
- 一時期、断捨離が流行りましたが、わたしも思い切って部屋の片づけを行いました。
- ボランティア活動の一環で、材料を送ってもらって、マスクを作成し、社協に寄付しました。
- 新型コロナウイルスが猛威を振るう前は体操に行っていたのですが、外出や体操に行くことも控えるようになり、体脂肪率が上がってしまいました。
- 家庭菜園に勤しみ、トマトを収穫しました。

介護相談員それぞれ、訪問できない間の過ごし方は様々だったようです。徐々にではありますが、訪問も再開しておりますので、事業所でお会いできた際には、声をかけてくださいね。

編集後記

今回の介護相談員だよりは「新型コロナウイルス感染症対策」を中心に発行しました。事業所の感染防止対応、面会制限や様々なイベント・行事が減少する中での、日々の活動や利用者の様子取材させていただきました。お忙しいところ取材にご協力いただきました、事業所の皆様にお礼を申し上げます。

たよりを通して、少しでも多くの方に「介護」について知ってもらう機会になればと思います。



広報委員 小川 まゆみ、山下 君代、赤井 眞知子、櫻井 博、田中 幸雄